

## 令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 野依校区

開催年度回次	令和4年度第28回	開催月日	2月26日	開催校区	野依校区	開催場所	野依校区市民館
議 題				市の回答			
<p><b>1. 道路、水路の維持管理(除草、陥没)について</b></p> <p>道路、水路沿いの草刈りや舗装穴の補修、改修工事など、維持事務所に要望しても順番待ち、緊急性などの面で後回しになるケースが多いです。</p> <p>一般市民からの通報も緊急性のある場合(維持事務所にとっても助かる情報)と、緊急性はなくて自治会長などから改めて依頼できる案件があるのは理解していますが、困っている市民からすると緊急性の違いは分かりません。</p> <p>市民のフラストレーションが溜まらないよう、要望した内容の進捗状況などを定期的にアナウンスするなどの対応をお願いしたいです。</p>				<p><b>道路維持課</b></p> <p>除草や補修についてのご要望については、現地を確認の上、緊急性のある現場を優先に対応しているため、緊急性の低い現場については、経過観察などとさせていただく場合もあります。</p> <p>緊急性のある場合というのは、通行に支障がある場合、放置すると事故の発生や災害の発生につながる恐れがある場合と考えています。</p> <p>今後は、ご要望をいただいた際に大まかな対応時期をご説明するよう心掛けてまいります。現地を確認しないと判断できない場合もあるため、要望時に「対応時期の連絡の要否」を確認させていただき、施工目途が立ち次第、ご連絡させていただきます。</p>			

開催年度回次	令和4年度第28回	開催月日	2月26日	開催校区	野依校区	開催場所	野依校区市民館
議 題				市の回答			
<p><b>2. 消防団各分団の団員数の基準の見直しについて</b></p> <p>他校区でも同様の状況が出ていると理解していますが、本校区においても消防団員の確保には大変苦慮しています。</p> <p>消防団各分団の団員数の基準(一編成17名)は、数年来変更がないように理解していますが、各種行事への参加縮小や少人数化への組織編制に移行していけるよう、検討してほしいです。</p>				<p><b>消防本部総務課</b></p> <p>消防団員の確保については、多くの分団で大変厳しい状況であることは認識しております。また、団員の勧誘に際しまして、自治会の皆さんを始め、多大なご尽力を賜っており、感謝しております。</p> <p>今年度、本市では豊橋市消防団組織等改善協議会を開催しました。協議会は、外部有識者等で構成され、市民や消防団の声を基に消防団の組織編制や活動の在り方などに関し、協議・検討してまいりました。</p> <p>加えて、協議会と並行して消防団幹部にも協議していただき、一定の方向性が示されました。</p> <p>(1)各種行事への参加縮小について</p> <p>消防団が担う多様な活動に対しての負担の声が多いことから、競技化した訓練や式典などの儀礼的な活動については、中止や縮小・集約を進め負担の軽減を図ることとしました。これを受け先に実施した消防出初式においては、消防団の参加者を幹部に限定し、従前の665名から100名と参加規模の縮小を図りました。今後も式典等の参加人数を縮小するなど、団員の負担軽減を図ってまいりたいと考えています。</p> <p>(2)少人数化への組織編制の移行について</p> <p>消防団の組織編制や団員数の基準などにつきましては、地域の実情によるところもあるため、消防団をはじめ、本市の関係部局などと更なる協議を重ね、検討してまいります。</p> <p>今後も、消防団員の確保につきましては、地域の皆様のお力添えをいただきながら、取り組んでまいります。</p>			

開催年度回次	令和4年度第28回	開催月日	2月26日	開催校区	野依校区	開催場所	野依校区市民館
議 題				市の回答			
<p><b>3. 自治会運営について</b></p> <p>若年層の自治会離れや、70歳定年制導入などで自治会役員を受けてもらえる方が減少しています。</p> <p>今後の自治会運営に対しての考え、アドバイスをお聞きしたいです。</p>				<p><b>市民協働推進課</b></p> <p>自治会が担っている役割は、つながりづくりや防犯・防災、環境美化など地域のまちづくりのほか、市の附属機関へ委員として参加し市政に市民の意見を反映させるなど、多岐に渡っております。</p> <p>一方、家族構成の変化や生活様式の多様化などに伴い、自治会加入率は徐々に低下しており、自治会活動の持続可能性の向上は重要な課題であると認識していることから、市としましては、自治会の負担軽減のため、市からの依頼事項の見直しや自治会活動のデジタル化支援などに取り組んでおります。</p> <p>また、自治連合会におきましても、若者や女性の自治会活動への参画に向けた話し合いが行われております。</p> <p>大学生との意見交換会では「親を見ていると、役が回ってきたときに負担が大きいイメージがある」、「自治会がどのような活動をしているのか、もう少し分かれば参加する機会も増えると思う。子どもや若者にも届くような情報発信を積極的に行ってほしい」、「継続も大事だが新しい事も取り入れてほしい。若者が主催し、自治会でサポートしてもらえるとやりやすい。イベントを開催したい人はいると思う」といった意見がございました。</p> <p>また、女性の自治会長経験者との意見交換会では、「最初に誰かがやれば後は続く」「女性1人ではなく複数で参加できるようにしてほしい」「多様な意見を尊重してくれる雰囲気づくりが大切」などの意見がございました。</p> <p>今後の自治会運営につきましては、情報発信を進めるとともに、若者や女性といった新たな担い手が参加しやすい場面を積極的に作っていくことが必要ではないかと考えております。</p>			

こうした新たな取り組みを進める一方で、新型コロナウイルス感染症の流行により一旦中止・縮小した様々な活動については、再開の必要性や再開するにしても負担を軽減する形に変更できないか、役員や行事をまとめることができないか など、過去のやり方に捉われず改めて検討していただくことも必要ではないかと考えております。